

原子力基盤技術総合的研究派遣・招聘について

「平成 8 年度 原子力基盤技術総合的研究における専門家派遣名簿」

「平成 8 年度 原子力基盤技術総合的研究における外国人招聘名簿」

「平成 9 年度 原子力基盤技術総合的研究における専門家派遣候補者」

「平成 9 年度 原子力基盤技術総合的研究における外国人招聘候補者」

平成8年度 原子力基盤技術総合の研究 専門家派遣名簿

交流委員会名	派遣者氏名	所属機関	派遣先機関名	派遣期間
放射線リスク	吉田 聡	放射線医学総合研究所(科学技術庁)	オルデンプルグ大学海洋・化学・生物学研究所 (ドイツ)	10/ 1 - 10/25
放射線リスク	早田 勇	放射線医学総合研究所(科学技術庁)	ライデン大学 (オランダ)	10/ 1 - 10/25
原子力用材料	石岡 邦江	金属材料技術研究所 (科学技術庁)	マックスプランク フリッツハーバー研究所 (ドイツ)	9/20 - 10/29
原子力用材料	三橋 武文	無機材質研究所 (科学技術庁)	固体化学連合研究所	3/10 - 3/24
原子力用レーザー	清 紀弘	電子技術総合研究所 (通商産業省)	フラスカティ国立研究所 (イタリア)、国立研究機関 LURE (フランス)	8/25 - 9/ 8
原子力用人工知能	喜多 伸之	電子技術総合研究所 (通商産業省)	オックスフォード大学 (英国)	8/24 - 9/14
原子力用知的支援活動	田中 邦彦	船舶技術研究所 (運輸省)	米国商船大学 (米国)	4/ 9 - 4/16(H9)
放射線ビーム	鈴木 良一	電子技術総合研究所 (通商産業省)	オークリッジ国立研究所 (米国)	11/ 1 - 11/25
原子力用計算科学	関口 嗣	電子技術総合研究所 (通商産業省)	大気研究所 (米国)	12/ 1 - 12/25

平成8年度 原子力基盤技術総合的研究における外国人招聘名簿

招聘者氏名	国名	所属機関	招聘期間	受入機関	交流委員会名
1 William M. Nauseef	米 国	アイオワ大学医学部	6/19 - 7/5	国立予防衛生研	放射線リスク
2 Manuel Garcia-Leon	スペイン	セビリャ大学物理学部	7/19 - 9/6	放射線医学総合研	放射線リスク
3 Ole J. Kleppa	米 国	シカゴ大学 ジェイムス フランク研	8/15 - 9/5	無機材質研究所	原子力用材料
4 Robert E. Donahue	米 国	国立心臓・肺・血液研	9/2 - 10/1	国立予防衛生研	放射線リスク
5 Charles D. Waldren	米 国	コロラド大学医学部	9/4 - 9/25	放射線医学総合研	放射線リスク
6 Lester D. Hullet	米 国	オークリッジ国立研究所	1/16 - 2/10	電子技術総合研	放射線ビーム
7 Dan C. C. Galariu	ルーマニア	原子核物理研究所	10/20 - 3/31	放射線医学総合研	放射線リスク
8 Wanhui Zheng	中 国	上海原子核研究所	10/1 - 3/29	物質工学技術研	原子力用材料
9 Frank M. Zimmermann	米 国	ラトガース大学	10/15 - 12/15	金属材料技術研	原子力用材料
10 Chaes G. Kallstrom	スウェーデン	R&D SSPA 海事コンサルタント	10/16 - 11/30	船舶技術研	人工知能
11 K. H. Wendepoh	ドイツ	ゲッティンゲン大学	10/27 - 12/2	放射線医学総合研	放射線リスク
12 Robert Cipolla	英 国	ケンブリッジ大学工学部	11/24 - 3/21	電子技術総合研	人工知能
13 S. Veprek	ドイツ	ミュンヘン工科大学	3/6 - 3/28	金属材料技術研	原子力用材料
14 Geoffrey W. Stevens☆	オーストラリア	メルボルン大学科学工学科	11/10 - 11/3	無機材質研	原子力用材料
15 Harry L. Tuller ☆	米 国	マサチューセッツ工科大学	2/24 - 3/22	無機材質研	原子力用材料
16 Jacek J. Michalik ☆	ポーランド	ポーランド核化学技術研	3/1 - 3/31	無機材質研	原子力用材料
17 William R. Schell ☆	スペイン	ジローナ大学	1/27 - 2/24	放射線医学総合研	放射線リスク
18 June Xu ☆	米 国	フィックス大学	11/11 - 12/26	電子技術総合研	放射線ビーム
19 A. S. Jovanovic ☆	ドイツ	シュツツガルト大学	2/17 - 3/1	金属材料技術研	計算科学

20 Naurang Lal Saini ☆	イタリア	ローマ大学物理学教室	10/26 - 1/24	電子技術総合研	放射線ビーム
21 Cho Yang-Koo 趙陽九	韓国	韓国標準科学研究院	1/8 - 2/8	電子技術総合研	原子力用材料
22 Claude Landron	フランス	仏国高温物理学研究所	1/12 - 3/31	金属材料技術研	原子力用材料
23 Jorg Zegenhagen	ドイツ	マックスプランク研究所	1/26 - 2/8	電子技術総合研	放射線ビーム
24 M.M. Korsukova	ロシア	ロシア科学アカデミーヨッフィ研究所	1/29 - 3/30	無機材質研	原子力用材料
25 M. Schmucker	ドイツ	ドイツ航空・宇宙研究機構	3/3 - 3/19	無機材質研	原子力用材料

(21～25： 3次募集)

(☆： 2次募集)

平成9年度原子力基盤技術総合的研究 専門家派遣候補者

交流委員会 名	氏 名	所属機関及び職名	派 遣 理 由	派遣研究機関名
放射線リス ク評価・低 減化	土田 耕三	国立予防衛生研究所放射能 監理室主任研究官	染色体上の遺伝子間距離の同定点法についての技 術修得及び新しい FISH 解析法に関する情報交換 放射線や環境変異原によるヒトへの影響に関する	ワシントン大学（米国）35 日間
	祖父尼 俊雄	国立衛生試験所変異遺伝部 長	新しい遺伝子マーカーを用いた研究、p53 や ras 等 の発がん関連遺伝子における突然変異の早期検出 法等についての情報交換	国立衛生研究所（フィンランド）国 立癌研究センター（仏国）スワンシ ー大学（英国）19 日間
	平田 浩一	物質工学工業技術研究所計 測化学部状態分析研究員	中性子やイオンを用いた分析法を用いた照射高分 子の評価に関する共同研究	ハーンマイトナー研究所（ドイツ） 17 日間
	中村 一隆	金属材料技術研究所第2研 究グループ主任研究官	御技術や材料評価技術の開発のため、高強度低速陽 電子ビーム施設を有するブルックヘブン国立研究 所の研究者との情報交換	マックスプランク研究所（ドイツ） 22 日間
	北島 正弘	金属材料技術研究所第2研 究グループサブグループリ ーダー	分子線を用いた固体表面の反応散乱・薄膜創製に関 する情報交換	コーネル大学（米国）12 日間

交流委員会
名

氏名

所属機関及び職名

派遣理由

派遣研究機関名

大平 俊行

電子技術総合研究所量子放射部放射線技術主任研究官

陽電子消滅励起オージェ電子分光法に関する情報交換

テキサス大学(米国)17日間

鈴木 良一

電子技術総合研究所放射部放射線技術研究室 主任研究官

粒子リニアックで発生した高強度粒子ビームの制御技術や材料評価技術の開発のため、高強度低速陽電子ビーム施設を有するブルックヘブン国立研究所の研究者との情報交換

ブルックヘブン大学（米国）17日間

放射線ビーム
利用先端
計測分析

杉山 卓

電子技術総合研究所量子放射部放射線技術研究室 主任研究官

主トモグラフィ技術に関する情報交換

放射光研究所ベルリン電子シンクロトロン研究所（ドイツ）
トリエステシンクロトロン施設（イタリア）30日間

桜井 健次

金属材料技術研究所精密励起場ステーション主任研究官

Spring-8 運転開始に向けた、放射光を利用した極微量分析に関する調査および研究討論

シンクロトロン放射施設（ドイツ）20日間

野田 哲二

金属材料技術研究所精密励起場ステーション総合研究官

Spring-8 運転開始にむけて、放射光を利用した極微量分析に関する調査および研究討論

シンクロトロン放射施設（ドイツ）20日間

交流委員会 名	氏 名	所属機関及び職名	派 遣 理 由	派遣研究機関名
原子力用計 算科学	関口 智嗣	電子技術総合研究所情報アーキテクチャ部主任研究官	米国大気研究所、カリフォルニア工科大学は複数のスーパーコンピュータを利用して大域的な分散システム計算の研究開発を行っている。本研究で開発中の超高速計算機利用技術を当工科大学（米国）30 該研究所における分散環境に適合させるための共同研究を行う。	米国大気研究所カリフォルニア工科大学（米国）30 日間
原子力用レーザー	山田 家 和 勝	電子技術総合研究所量子放射部放射線技術研究官	アジアにおけるシンクロトロン放射および自由電子レーザー 高エネルギー研究所の研究の重要な役割を担いつつある中国の研究機関を訪問し情立シンクロトロン放射 報交換を行うとともに研究協力を進める	研究所（中国）15 日間

平成9年度原子力基盤総合的研究における外国人招聘候補者

交 流 委 員氏 名 会名	所属機関及び職 名	招 聘 理 由	受入研究機関名
Frank M. Zimmermann(フ ランク M. ジンマーマン) 33 男	ラトガース大学 助教授 (米国)	イオン、分子線、ラジカル、レーザー光等で照射励起した表面反応の反金属材料技術研 応性散乱表面微視構造等の全般について、測定技や解析法に関する研究所 (科学技術 究協力、近い将来の同研究等について討論、意見交換を行う 庁)	
J. Wannner (ジェイ ワナー) 原 子 58 男 力 用 材料	マックスプラン ク量子光学研究 所研究員	金属、半導体、黒鉛と原子線との反応性散乱、特に第2次元選出技術に ついて測定技術や解析法について討論、意見交換を行う 金属材料技術研 究所 (科学技術 庁)	
	アーヘン工科大 学教授 (ドイツ)	超短パルスレーザー等で照射励起した表面のフォノン寿命およびイオ ン照射によるフォノン寿命の変化について測定技術や解析法について 金属材料技術研 究所 (科学技術 庁) 討論、意見交換を行う。	
Jiri Vacik(ジリ バシック) 43 男	核物理研究所研 究員 (チェコ)	中性子デプスプロファイリング (NDP) 法および陽電子ビームによる イオン照射高分子内トラック構造の解析に関する共同研究	物質工学工業技 術研究所 (通商 産業省)

交流委員 委員会名	氏名	所属機関及び職名	招 聘 理 由	受入研究機関名
	寺岡 巖(Iwao Teraoka) 38 男	ポリテクニック大学助 教授（米国）	高浸透圧クロマトグラフィーによる放射線照射高分子試料の 分子量分画に関する共同研究	物質工学工業技術 研究所（通商産業 省）
原子力 58 男	Dietmar W.K. Fink（ディエ トマー W.K.フィンク）	ハーンマイトナー研究 所主任研究員（ドイツ）	中性子デプスプロファイリング（NDP）法および陽電子ビー ムによるイオン照射高分子内トラック構造の解析に関する共 同研究	物質工学工業技術 研究所（通商産業 省）
用材料 56 男	Vladimir Balek(ウラジミ ール バレク)	チェコ原子核研究所教 授（チェコ）	表面改良材料の欠陥評価と熱処理による欠陥消滅過程解明に 関する共同実験および討論、意見交換を行う。	無機材質研究所（科 学技術庁）
	Henry Freiser（ヘンリー フ ライザー） 76 男	アリゾナ大学 化学課 教授（米国）	複合環境用セラミックスのマルチコンポジット化とその多次 元評価の研究において必要な分離分析法に関する研究討論と 材料評価を行う	無機材質研究所（科 学技術庁）

交流委員会 氏名	氏名	所属機関及び職名	招 聘 理 由	受入研究機関 名
放射線ビーム 利用先端計 測・分析	Krassimir NadialkovStoev(クラシブルガリア科学アカデミ ミール ネジアルコフストエフ)	原子核・エネルギー研究所 研究助手（ブルガリア）	今秋運転開始の spring-8 を踏まえて、放射光全反金属材 料技術による薄膜解析に関する共同研究、研 究討論を行う。	金属材料技術 研究所（科学 技術庁）
	37 男			
放射線ビーム 利用先端計 測・分析	Alexander HermanWeiss(アレク サンダー ハーマン ワイス)	テキサス・アーリントン大 学教授（米国）	超低速陽電子ビームの制御技術や計測法に関する 共同研究および陽電子ビームの制御技術の高度化 とそのビームの利用について研究協力、討論を行 う。	電子技術総合 研究所（通商 産業省）
	46 男			
原子力用レ ーザー	Naurang Saini(ノーラング サイ ニ)	ローマ大学物理学教室ボ スドク（イタリア）	超高効率X線検出器を用いた炭化物単結晶薄膜試 料の格子異常に関する共同研究および応用研究、討 論を行う。	金属材料技術 研究所（科学 技術庁）
	33 男			
原子力用レ ーザー	Vladimir N.Litvinenko(ブラヂミ ル N. リトビネンコ)	デューク大学教授（米国）	自由電子レーザーの更なる短波長化・安定化を進め るための検討・討論を行う。	電子技術総合 研究所（通商 産業省）
	39 男			

交流委員会 名	氏 名	所属機関及び職名	招 聘 理 由	受入研究機関 名
	Anita Enflo(ア ニ タ エンフロ) 53 男	国立放射線防護研究所上 級研究官 (スウェーデン)	微量汚染物質と放射性物質の環境挙動とその環境負荷に関する 比較影響、および α 線放出核種の吸収摂取による健康影響と環 境汚染物質の交絡に関するリスク推定モデルについての共同研 究	放射線医学総 合研究所 (科学 技術庁)
放射線リス ク評価・低 減化	Werner Ruuhm (ウ エ ルナー ルウム) 35 男	放射線防護局放射線衛生 研究所研究員 (ドイツ)	放射線物質および微量元素の環境移行パラメーターと動的モデ ルに関する研究	放射線医学総 合研究所 (科学 技術庁)
	Hans J. Brumsack(ハ ンス ブルムザック) 46 男	ホルデントブルグ大学、海 洋・化学・生物学研究所教 授 (ドイツ)	放射性および微量元素の分析と環境移行パラメーターに関する 共同研究	放射線医学総 合研究所 (科学 技術庁)
	Robert P. P. Fuchs(ロ ベルト フックス) 49 男	国立中央科学研究所、発 癌・突然変異・分子造研究 所所長 (フランス)	突然変異誘発の分子機構、特に DNA 付加体の分子構造面から放 射線誘発突然変異に関する共同研究	国立衛生試験 所 (厚生省)

交流委員名	氏 名	所属機関及び職名	招 聘 理 由	受入研究機関名
放射線リスク 47 男	Milliam C. Earnshaw (ウィリアム C・アーンショウ)	エジンバラ大学教授 (イギリス)	動原体の染色体異常解析プロジェクトに対して基礎的な指導、方向性の示唆を受けるとともに討論、意見交換を行う。	国立予防衛生研究所 (厚生省)
評価・低減化 46 男	Thomas H. Eickbush (トーマス H. アイグブッシュ)	ロチェスター大学教授 (アメリカ)	染色体の構成要素レトロトランスポゾンのゲノムへの挿入機構と放射線感受性についての共同研究	国立予防衛生研究所 (厚生省)
原子力用人工知能・知的支援	Haruzo Eda (江田 治三) 76 男 Giulio Sandini (ギウリオ サンディーニ) 47 男	米国商船大学校 教授 運輸省海事局 (米国) サジェノバ大学通信計算機システム科学部助教授 (イタリア)	米国シミュレータを用いたグループ運転実験方法の検討を行う。 「認識能動センシングシステムの研究」において開発中の実時間の能動視覚システムについて共同研究を行う。	船舶技術研究所 (運輸省) 電子技術総合研究所 (通商産業省)